



簡易取扱説明書

デジタルボイスレコーダー

通話録音装置

VR-464

目次

再生のしかた	2
1. 再生のしかた	2
2. 検索のしかた	4
2-1 《検索》画面について	4
2-2 ドライブの指定	5
2-3 検索条件の指定	6
2-4 回線の指定	9
3. 再生条件の指定	10
3-1 《再生》画面 について	10
3-2 検索結果	10
3-3 再生の指定	12
4. 再生中のオプション操作	13
4-1 メモを付ける	13
4-2 コピーをする	13
4-3 データを削除する	13
5. 同時モニター	14
バックアップのしかた	15
1. バックアップについて	15
2. 満杯になってから交換する	16
3. 満杯になる前に交換する	17
4. その他	18
メディア	19
1. ドライブ情報	19
2. メディア作成	20
3. 手動バックアップ	22

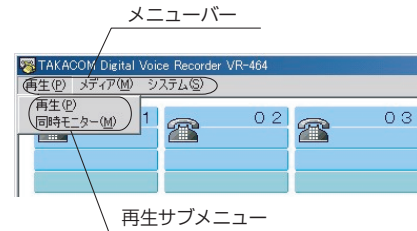
再生のしかた

1. 再生のしかた

通話を検索し、その録音内容を再生します。

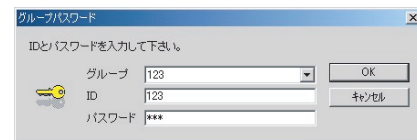
1

- ① メニューバーの [再生] をクリックします。
 - ・再生サブメニューが表示されます。
- ② 再生サブメニューの [再生] をクリックします。
 - ・バックアップ中のときは、《バックアップ》画面が開きます。操作方法は、「■バックアップ中の再生操作について《→P.3》」をご覧ください。
 - ・パスワードが設定されているときは、《グループパスワード》画面が開きます。手順2へ進みます。
 - ・バックアップ中でないときおよびパスワードが設定していないときは、《検索》画面が開きます。手順3へ進みます。



2

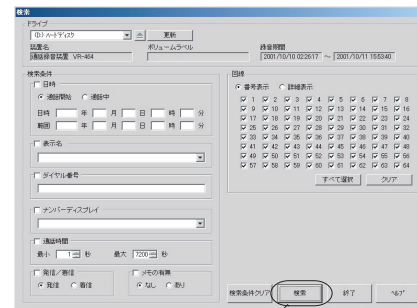
- ① [グループ] 入力欄の [▼] をクリックして、その中からグループを選びます。
 - ・グループが表示されます。
- ② [ID] 入力欄をクリックして、キーボードから「ID」を入力します。
 - ・IDが表示されます。
- ③ [パスワード] 入力欄をクリックして、キーボードから「パスワード」を入力します。
 - ・入力したパスワードはセキュリティ保護のため表示されません。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。



※《グループパスワード》画面が表示されたとき、マスター、または、システム・エージェント・カスタムで再生が許可になっているIDおよびパスワードでも再生することができます。

3

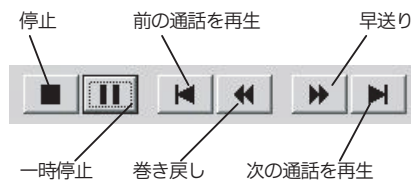
- ① 再生の検索条件を入力します。
 - ・検索のしかたは、「2. 検索のしかた《→P.4》」をご覧ください。
- ② [検索] ボタンをクリックします。
 - ・《再生》画面が開きます。



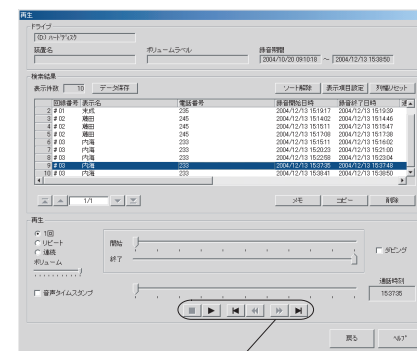
[検索]ボタン

4

- ① 《検索結果》ボックスから該当の通話をクリックします。
 - ・反転表示になります。
- ② 《再生》ボックスで再生条件を指定します。
 - ・指定方法は、「3-3 再生の指定《→P.12》」をご覧ください。
- ③ [▶] ボタンをクリックすると再生を開始します。
[■] ボタンをクリックすると再生を停止します。



- ※ [早送り] ボタンを1回クリックすると、約3秒早送りします。
- ※ [巻き戻し] ボタンを1回クリックすると、約3秒巻き戻します。

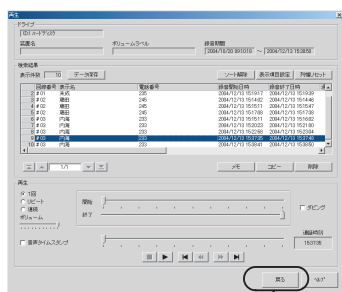


再生操作ボタン

■再生を終了するには

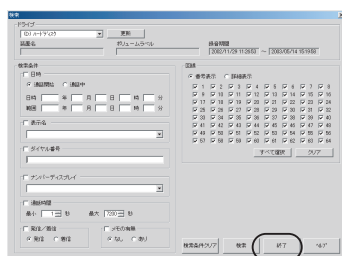
再生を終了して、基本画面に戻すときは、次の操作をしてください。

- ① 《再生》画面で、[戻る]ボタンをクリックします。
 - ・《検索》画面に戻ります。

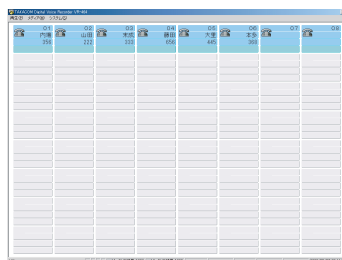


[戻る]ボタン

- ② 《検索》画面で、[終了]ボタンをクリックします。
 - ・基本画面に戻ります。



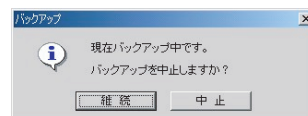
[終了]ボタン



■バックアップ中の再生操作について

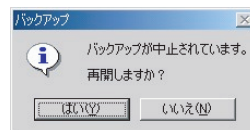
バックアップ中は、基本画面のステータスバーに【バックアップ中】と表示されます。

- ①「1. 再生のしかた(→P.2)」の手順1または手順2で、《バックアップ》画面が開きます。



- ② [中止]ボタンをクリックします。
 - バックアップを中止して手順3へ進み、再生ができます。
 - ・[継続]ボタンをクリックしたときは、基本画面に戻り、バックアップを継続します。

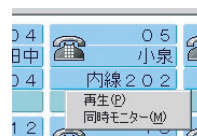
- ③ 中止したバックアップの方法が「定時」または「間隔」のときは、再生を終了すると、《バックアップ》画面が開きます。



- ・[はい]ボタンをクリックしたときは、基本画面に戻り、バックアップを再開します。
 - ・[いいえ]ボタンをクリックしたときは、バックアップを中止し基本画面に戻ります。
- 残りのバックアップは、次のバックアップのとき行われます。

ワンポイント

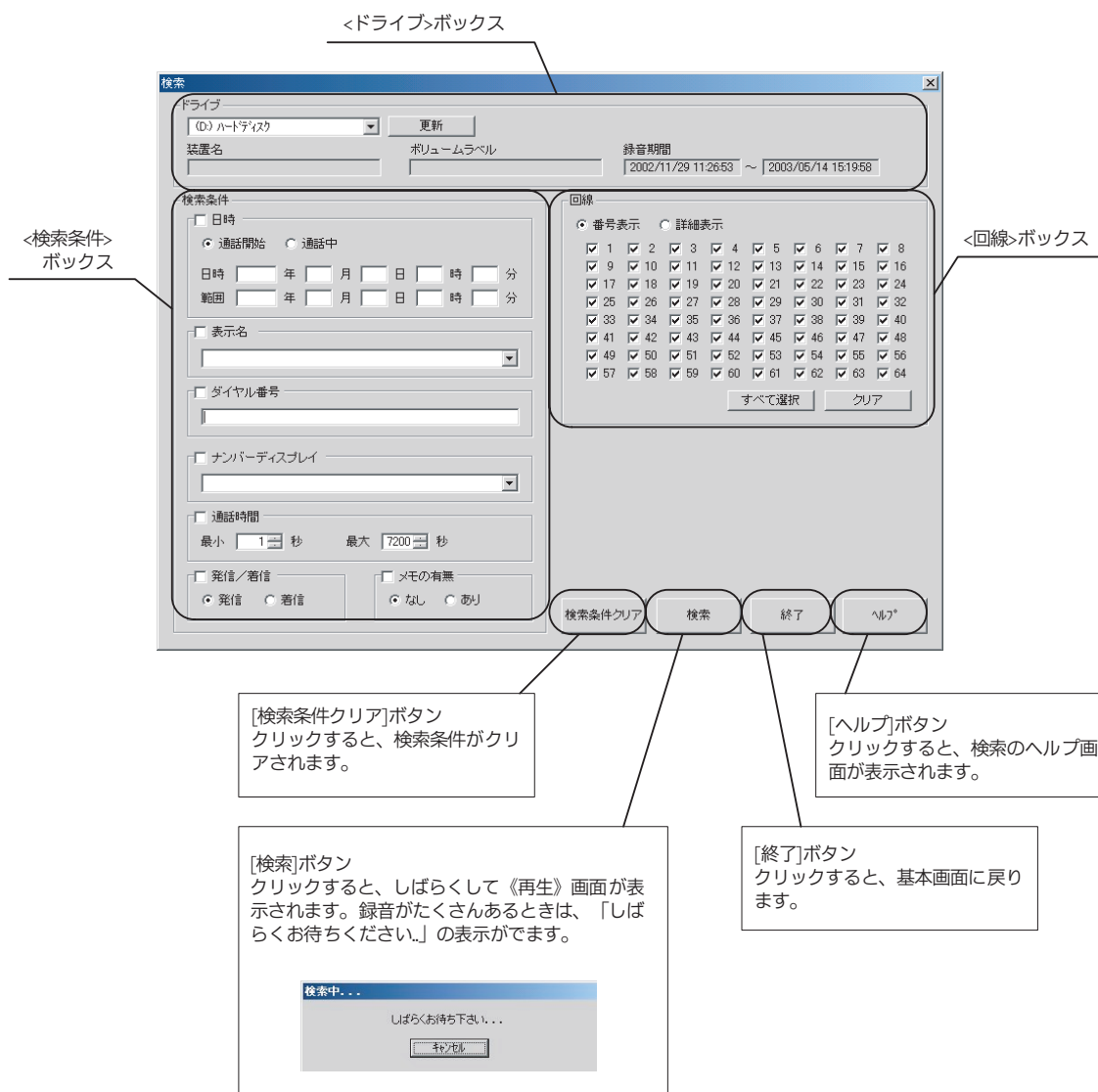
- 基本画面の回線表示の枠内で右クリックすると、再生のサブメニューが表示されます。その回線だけの再生や同時モニターができます。



2. 検索のしかた

以下の項目に検索条件を指定して、通話を検索します。ドライブと回線は、必ず、指定します。

2-1 《検索》画面について

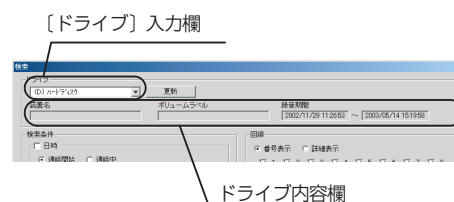


2-2 ドライブの指定

〈ドライブ〉ボックスで、再生したいドライブ（場所）を指定します。ドライブは、必ず、指定します。

- ① [ドライブ] 入力欄の [▼] ボタンをクリックします。
 - ・ドライブ一覧が表示されます。

- ② ドライブ一覧から、再生したいドライブをクリックします。
 - ・ドライブ内容欄に選択したドライブの内容が表示されます。
 - ・本装置に録音されている通話を再生するときは「ハードディスク」を、また、他のメディアを再生するときは「DVD-RAM ディスク」や「フロッピーディスク」をクリックします。



ドライブ一覧

本装置のドライブは、次のとおりです。

- ・(A:) フロッピーディスク
フロッピーディスクドライブが指定されます。
フロッピーディスクドライブを指定するときは、あらかじめ、フロッピーディスクを挿入してから手順2の操作を行ってください。
- ・(D:) ハードディスク
本装置内のハードディスクドライブが指定されます。
- ・(E:) DVD-RAM ディスク
DVD-RAMドライブが指定されます。
 - *デュアルドライブ仕様の場合「F」が2台目のDVD-RAMドライブになります。

ドライブ内容表示

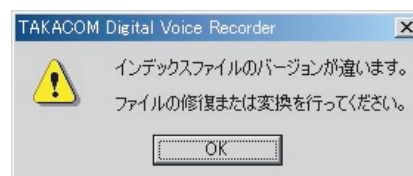
ドライブ内容欄に、選択されたドライブの内容が表示されます。

- ・装置名：
通話を録音した装置名が表示されます。
- ・ボリュームラベル：
メディア作成などで登録された名前が表示されます。
- ・録音期間：
録音されている最古の録音開始日時と最新の録音終了日時が表示されます。
日時は「年月日・時分秒」で表示されます。（年は西暦、時は24時間制で表示）

ワンポイント

- DVD-RAMディスクの交換手順：
 - ① ドライブ一覧で、「(E:)DVD-RAM ディスク」を選択します。
 - *デュアルドライブ仕様で、2台目のDVD-RAMドライブを指定するときは、「(F:)DVD-RAM ディスク」を選択します。
 - ② DVD-RAMドライブの「イジェクト」ボタンを押し、DVD-RAMディスクを取り出します。
 - *DVD-RAMランプが点灯または点滅中は、取り出すことができません。消灯するまでお待ちください。
 - ③ 別のディスクをトレイにのせます。
 - ④ DVD-RAMドライブの「イジェクト」ボタンを押し、トレイを閉じます。
 - ⑤ DVD-RAMランプが消灯したら、更新ボタンをクリックします。

- DVD-RAM を交換して下のアラームが表示されたら：
本装置で使用するには、「変換」が必要です。一度変換すると、その後は表示されません。
変換方法は取扱説明書「ファイルの変換・修復 2. インデックスファイルの変換」73ページをご参照ください。



2-3 検索条件の指定

〈検索条件〉ボックスで、検索条件を指定します。検索条件を設定すると、抽出する通話を絞り込むことができます。

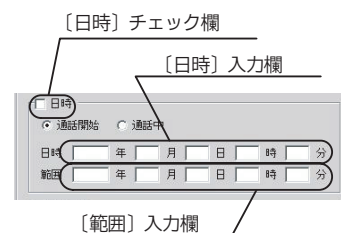
(A) 日時の指定

通話の日時やその範囲を指定して検索します。

- ① [日時] チェック欄をクリックして、「✓」印を付けます。
 - ・「✓」印がないときは、日時が指定してあっても、検索条件の対象外になります。
- ② [日時] 入力欄へ検索条件の対象とする「日時」を入力します。

範囲を指定するときは、[範囲] 入力欄へ検索条件の対象とする「日時」を入力します。[日時] 入力欄の日時から [範囲] 入力欄の日時までが検索条件の対象となります。

 - ・入力は、キーボードから、「年月日・時分」を入力します。
 - ・「年」は西暦4桁、「時」は24時間制で入力します。



日時の基準は、次の中から指定できます。

- ・ [通話開始] オプションを指定しているときは：
[日時] 入力欄の日時時に開始された通話が検索条件の対象となります。また、[範囲] 入力欄の指定があるときは、その期間内で開始された通話が検索条件の対象となります。
- ・ [通話中] オプションを指定しているときは：
上記以外に、[日時] 入力欄および [範囲] 入力欄の日時に通話中の通話も検索条件の対象となります。

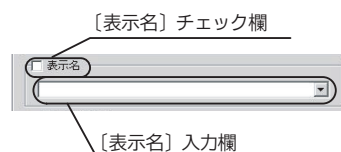
(B) 表示名の指定

担当者など、表示名に登録された名前を検索条件にします。入力した文字を含む（完全に一致しなくてもよい）通話を検索します。

- ① [表示名] チェック欄をクリックして、「✓」印を付けます。
 - ・「✓」印がないときは、表示名が指定してあっても、検索条件の対象外になります。
- ② [表示名] 入力欄へ、キーボードから「表示名」を入力します。

または、[▼] ボタンをクリックして、表示名のリストを表示させ、その中から選択します。

「担当者制限機能」を使うときと使わないときで、リストに表示される内容が変わります。詳細は、取扱説明書「LAN 再生 担当者制限機能」83ページをご覧ください。

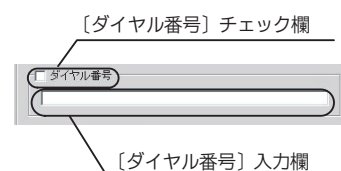


(C) ダイヤル番号の指定

通話中に録音された顧客番号やプッシュホン回線のダイヤル発信番号などを検索条件にします。入力した数字を含む（完全に一致しなくてもよい）通話を検索します。

ダイヤル番号情報は、録音中にPB信号（プッシュホン信号）が検出された通話に付加されます。

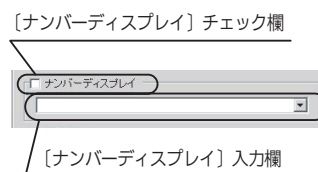
- ① [ダイヤル番号] チェック欄をクリックして、「✓」印を付けます。
 - ・「✓」印がないときは、番号が指定してあっても、検索条件の対象外になります。
- ② [ダイヤル番号] 入力欄へ、キーボードから「ダイヤル番号」を入力します。
 - ・ダイヤル番号は、半角で最大31桁まで入力できます。



(D) ナンバーディスプレイの指定

ナンバーディスプレイ番号から検索します。入力した数字を含む（完全に一致しなくてもよい）通話を検索します。

- ① [ナンバーディスプレイ] チェック欄をクリックして、「✓」印を付けます。
 - ・「✓」印がないときは、ナンバーディスプレイが指定してあっても、検索条件の対象外になります。
- ② [ナンバーディスプレイ] 入力欄へ、キーボードからナンバーディスプレイ番号を入力します。
 - ・番号は、半角で最大 15 桁まで入力できます。
 - ・「非通知」／「公衆電話」／「表示圏外」を検索条件の対象にすることができます。このときは、[▼] ボタンをクリックして、サブメニューを表示させ、その中から選択します。
 - ・番号との両方を検索条件の対象にすることはできません。



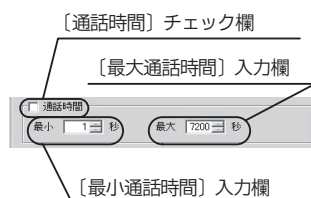
■ ナンバーディスプレイについて

ナンバーディスプレイ情報は、システム登録で、設定された回線での通話に付加されます。くわしくは、取扱説明書「システム登録 3. 回線の登録《→P.38》」をご覧ください。

(E) 通話時間の指定

通話時間の範囲を指定して、検索します。

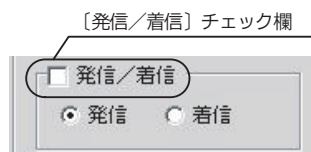
- ① [通話時間] チェック欄をクリックして、「✓」印を付けます。
 - ・「✓」印がないときは、通話時間が指定してあっても検索条件の対象外になります。
- ② [最小通話時間] 入力欄へ検索条件の対象の「最小通話時間」を、[最大通話時間] 入力欄へ検索条件の対象の「最大通話時間」をキーボードから入力します。[▲]／[▼] ボタンをクリックしても指定できます。
 - ・時間は、「秒」で入力します。
 - ・最小通話時間は 1 秒、また、最大通話時間は 7200 秒（2 時間）まで指定できます。



(F) 発信／着信の指定

発信や着信の区別から、検索します。

- ① [発信／着信] チェック欄をクリックして、「✓」印を付けます。
 - ・「✓」印がないときは、発信／着信が指定してあっても、検索条件の対象外になります。
- ② 発信での通話を検索条件の対象にするときは、[発信] オプションをクリックします。
着信での通話を検索条件の対象にするときは、[着信] オプションをクリックします。



「発信」、「着信」の情報は、システム登録で起動方式を「ライン電圧」に指定した回線での通話に付加されます。

取扱説明書「システム登録 3. 回線の登録 D: 起動方式《→P.38》」をご覧ください。

(G) メモの有無の指定

通話に付けられたメモの「あり／なし」の区別から検索します。

① [メモの有無] チェック欄をクリックして、「✓」印を付けます。

・「✓」印がないときは、検索条件の対象外になります。

② メモがない通話を検索条件の対象にするときは、[なし] オプションをクリックします。

メモがある通話を検索条件の対象にするときは、[あり] オプションをクリックします。



■ メモについて

- ・ メモは、通話を再生するときに付加することができます。メモの付けかたは、「4.再生中のオプション操作《→ P.13》」をご覧ください。
- ・ メモの有無は、《再生》画面の通話データの表示項目「メモの有無」に「あり」と表示されます。(メモがないときは、空欄です。)

2-4 回線の指定

〈回線〉ボックスで、再生したい回線を指定します。パスワードを設定しているときは、そのグループパスワードに登録された回線番号だけを選択することができます。

回線が一つも指定されていないときは、検索ができません。回線は、必ず、指定してください。

(A) [番号表示] オプションを指定するとき

① [番号表示] オプションをクリックします。

- ・回線番号の一覧が表示されます。

② [回線番号] チェック欄をクリックします。

- ・[✓] 印が表示され、その回線が検索の対象になります。
- ・[✓] 印が表示されているとき、[✓] 印をクリックすると、その [回線番号] チェック欄は空欄となり、検索の対象外となります。

- [すべて選択] ボタンをクリックすると、すべての回線に一括して、[✓] 印が表示されます。
- [クリア] ボタンをクリックすると、すべての [回線番号] チェック欄が空欄となります。



(B) [詳細表示] オプションを指定するとき

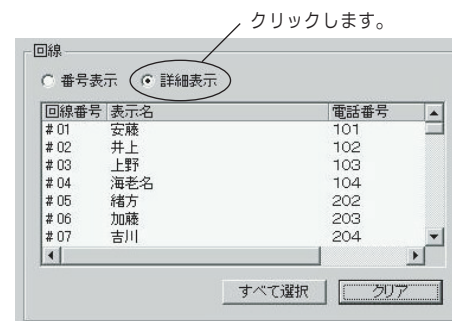
① [詳細表示] オプションをクリックします。

- ・回線番号以外に表示名や電話番号が表示されます。

② [回線番号] 行をクリックします。

- ・回線が反転表示になり検索の対象になります。
- ・複数回線を指定するときは、キーボードの [Ctrl] キーを押したまま、[回線番号] 行をクリックすると、クリックした回線が次々と反転表示になります。

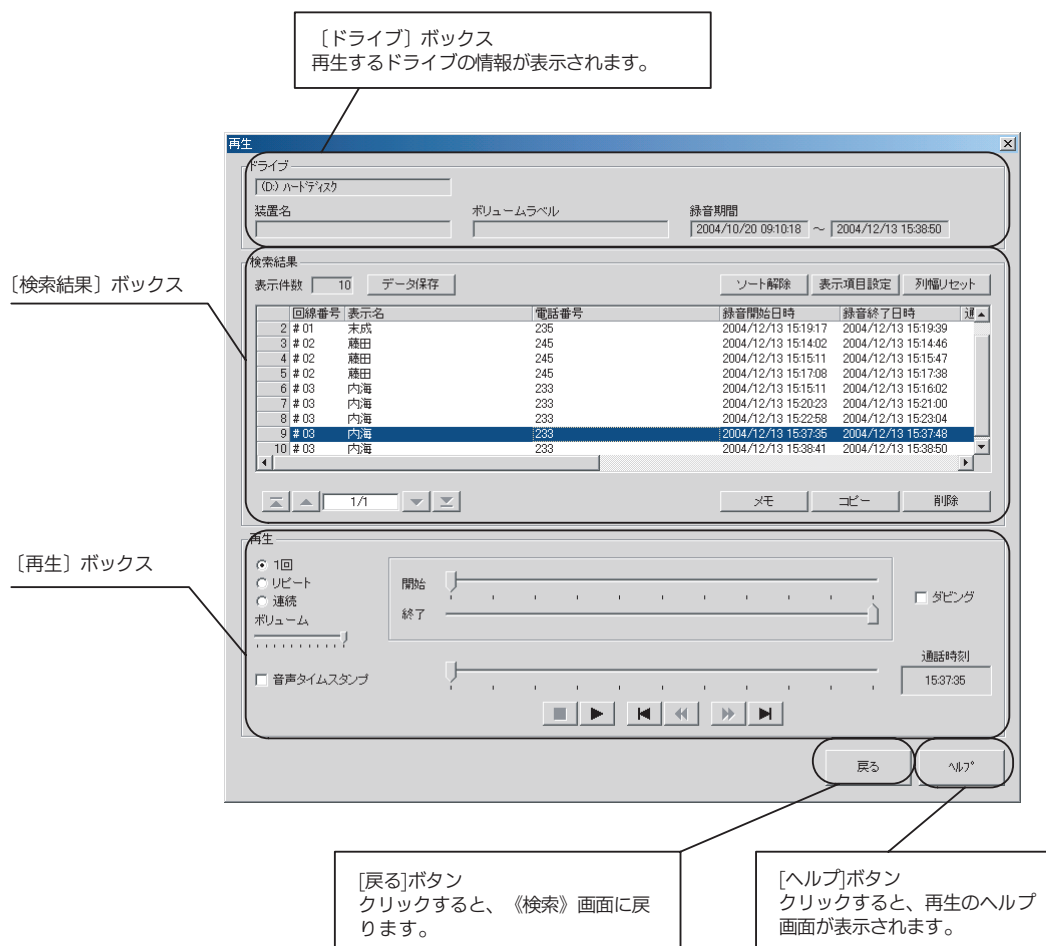
- [すべて選択] ボタンをクリックすると、すべての回線が反転表示になります。
- [クリア] ボタンをクリックすると、すべての回線の反転表示がなくなります。



3. 再生条件の指定

〈検索結果〉ボックスで再生したい通話を選択し、〈再生〉ボックスで再生条件を指定して再生します。

3-1 《再生》画面 について



3-2 検索結果

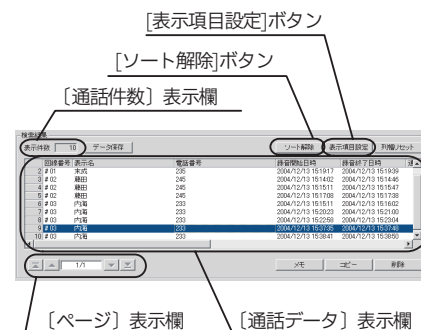
検索により抽出された通話は、〈検索結果〉ボックスに表示されます。〈検索結果〉ボックスで、通話にメモをつけたりコピーなどができます。くわしくは、「4. 再生中のオプション操作 (→ P.13)」をご覧ください。

■ 通話を選択するには

検索により抽出された通話は、[通話データ] 表示欄に、リスト形式で表示されます。

● 再生したい行をクリックします。

- ・ 選択された行は反転表示になります。
- ・ 件数が多いときは、スクロールバーが表示されます。垂直スクロールバーで、つまみをドラッグするか、[▲/▼] ボタンをクリックすると、通話データが上下に移動します。
- ・ 検索条件に該当する通話がないときは、白地の画面が表示されます。



■ ページと通話件数表示について

抽出された通話が、501件以上あるときは、500件を1単位にしてページに分割されます。

● [ページ] 表示欄に、分母は総ページ数を分子は現在表示されている通話データのページ番号が表示されます。

ページの移動操作は次のとおりです。

- ・ [ページ] 表示欄をクリックして、キーボードから目的のページ番号を入力できます。
- ・ [▲] ボタンをクリックすると、前ページを表示します。
- ・ [▲] ボタンをクリックすると、最初のページを表示します。
- ・ [▼] ボタンをクリックすると、次のページを表示します。
- ・ [▼] ボタンをクリックすると、最後のページを表示します。



● [通話件数] 表示欄に、現在、表示されているページの通話件数を表示します。

■ 通話のソート（並べ替え）と解除

データのタイトル部分をクリックすると、その項目を基準に、表示しているページの通話を並べ替えます。

- ・ クリックするごとに、昇順と降順に切り替わります。
- ・ [ソート解除] ボタンをクリックすると、元の順番に戻ります。

■ 列幅の変更とリセット

マウスポインタを表示項目名の境界へ移動すると、ポインタの形が「」から「」に変わります。その状態でドラッグすると、項目の表示幅を変更することができます。[列幅リセット] ボタンをクリックすると、工場出荷の状態に戻ります。

■ 表示項目の変更

リスト形式で表示されている見出し項目を表示または非表示にすることができます。初期設定は、すべての項目を表示しています。

① [表示項目設定] ボタンをクリックすると、「表示項目設定」ボックスが開きます。

② [表示項目] チェック欄に、「」印のある項目が表示されます。

- ・ 非表示にするには、「」印をクリックします。

③ [OK] ボタンをクリックします。

- ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、元の設定に戻ります。

● 表示項目は次のとおりです。

- ・ 回線番号
- ・ 表示名
- ・ 電話番号
- ・ 録音開始日時
- ・ 録音終了日時
- ・ 通話時間
- ・ ダイヤル番号
- ・ ナンバーディスプレイ
- ・ 発信／着信
- ・ ベル回数
- ・ メモの有無
- ・ 装置名

■ 検索結果の保存

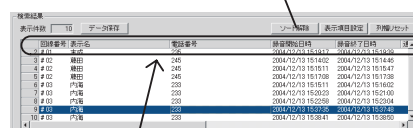
結果ボックスに表示された検索結果をフロッピーディスクなどに保存することができます。

① [データ保存] ボタンをクリックします。

② 保存場所とファイル名を指定する画面が開きますので、指定し [保存] ボタンをクリックします。

保存形式は、各項目をコマで区切った CSV 形式です。ここで保存される内容は、検索結果の一覧だけで、録音内容は保存されません。

クリックするとソートを解除します。

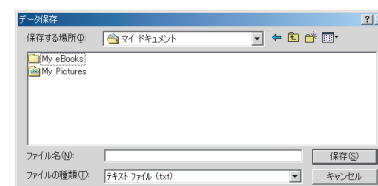
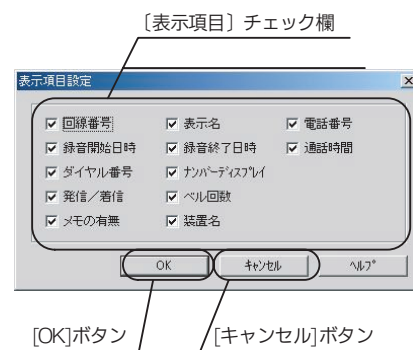


タイトルをクリックすると、クリックした項目でソートします。

クリックすると工場出荷状態に戻ります



この状態でドラッグすると「録音終了日時」の表示幅を変更することができます



3-3 再生の指定

《再生》ボックスで、再生条件を指定します。

■ 再生回数の指定

再生回数を指定することができます。

● [再生回数] オプションをクリックして、「1回/リピート/連続」の中から選びます。

- ・ 1回 : 指定した録音を、1回再生します。
- ・ リピート : 指定した録音を、繰り返し再生します。
- ・ 連続 : 指定した通話データから順に再生します。

■ タイムスタンプの再生

再生の前に、通話開始月日、時刻を音声で聞くことができます。

- [音声タイムスタンプ] チェック欄をクリックして、「✓」印を表示させます。音声タイムスタンプ専用のボリュームが表示されます。
 - ・ 再生回数が「リピート」のときは、その都度タイムスタンプが再生されます。
 - ・ 年、秒は再生しません。

解除するときは、「✓」印をクリックして、空欄にします。

■ 再生範囲の指定

1通話分の中で、開始位置と終了位置を指定して、その部分のみを再生できます。

- [再生範囲] 指定欄の「開始」つまみおよび「終了」つまみをドラッグして再生範囲を指定します。
 - ・ 回数指定が「連続」のときは、最初の通話のみ指定した範囲を再生しますが、次の通話からは全部の再生となります。

■ 再生音量調節について

スピーカ、イヤホン、音声出力ジャック、ラインアウトジャック（後面）の出力を調節することができます。

- ボリュームのつまみを右にドラッグすると、音量が大きくなります。
- スピーカとイヤホンの音量は、本装置前面の音量つまみでも調節できますが、画面のボリュームで調節した範囲内での調節になります。
- 音声出力ジャック、ラインアウトジャック（後面）の出力は、本装置前面の音量つまみでの調節はできません。

■ 再生経過表示

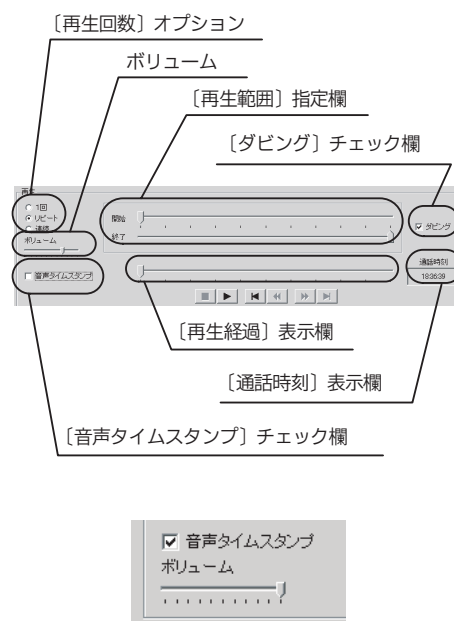
再生が開始されると、[再生経過] 表示欄のつまみが、1秒単位で、右方向へ移動して、1通話中の現在の再生位置を表示します。

■ 通話時刻表示

[通話時刻] 表示欄に、再生中の通話時刻が表示されます。

■ 自動ダビング

外部のダビング用機器を制御するリレー接点（「ダビング制御A出力」、「ダビング制御B出力」）を使用するとき、「ダビング」チェック欄をクリックして、「✓」印を表示させます。



「✓」印を付けると、音声タイムスタンプ専用のボリュームが表示されます。

ワンポイント

● ラインアウトジャック：

- ・ 形状はステレオミニジャックです。接続する機器に適合した接続コードをご用意ください。
- ・ 仕様は取扱説明書「主な仕様」81ページをご参照ください。

● 音声出力ジャック：

- ・ 形状はモノラルミニジャックです。接続する機器に適合した接続コードをご用意ください。
- ・ 仕様は取扱説明書「主な仕様」81ページをご参照ください。

ワンポイント

「システム登録 8. その他の登録」の「ダビング用接点出力」の設定により、接点の出力方法が変わります。取扱説明書47ページをご参照ください。

4. 再生中のオプション操作

《再生》画面の《検索結果》ボックスで次の操作ができます。ファイルの削除中は操作できません。

4-1 メモを付ける

選択した通話データに、メモを付けることができます。

- ・メモが付加されると、表示項目の「メモの有無」欄に「あり」と表示されます。
- ・メモ「あり」を検索の条件にすることができます。

① 《検索結果》ボックスの [メモ] ボタンをクリックします。

- ・《メモ》画面が開きます。すでにメモが付加されているときは、その内容が表示されます。
- ・[クリア] ボタンをクリックすると、メモ内容が消去されます。

② [メモ] 入力欄へ「メモ」をキーボードから入力します。

- ・全角で最大 64 文字まで入力できます。日本語入力もできます。

③ [OK] ボタンをクリックします。

- ・[メモを登録しました。] の確認画面が表示されます。
- ・メモ内容を変更しないときは、確認画面は表示されません。
- ・[クリア] ボタンをクリックすると、メモ内容がクリアされます。
- ・[キャンセル] ボタンをクリックすると、元の内容で、《再生》画面に戻ります。

④ 確認画面の [OK] ボタンをクリックします。

- ・《再生》画面に戻ります。

4-2 コピーをする

選択した通話データを、他のメディアへコピーすることができます。

- ・バックアップ用に設定された DVD-RAM ディスクには、コピーできません。
- ・DVD-RAM ディスクにコピーするときは、あらかじめ検索画面のときに入れ替えておきます。

① [通話データ] 表示欄からコピーする通話をクリックします。

- ・反転表示になります。

② 《検索結果》ボックスの [コピー] ボタンをクリックします。

- ・《ファイルのコピー》画面が開きます。

③ [ドライブ] 入力欄の [▼] ボタンをクリックし、サブメニューの中から、コピー先のディスクをクリックします。

- ・コピー先はフロッピーディスクまたは DVD-RAM ディスクから選択できます。
- ・「インデックスファイルのバージョンが違います。」というアラームが表示されることがあります。詳しくは、5 ページの「ワンポイント」をご参照ください。

④ [OK] ボタンをクリックします。

- ・[ファイルのコピーが終了しました。] の確認画面が表示されます。
- ・[キャンセル] ボタンをクリックするとコピーされずに、《再生》画面に戻ります。

⑤ 確認画面の [OK] ボタンをクリックします。

- ・《再生》画面に戻ります。

4-3 データを削除する

選択した通話データを削除することができます。

① [通話データ] 表示欄から削除するデータをクリックします。

- ・反転表示になります。

② [削除] ボタンをクリックします。

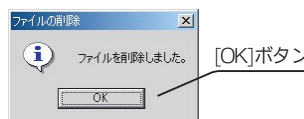
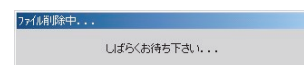
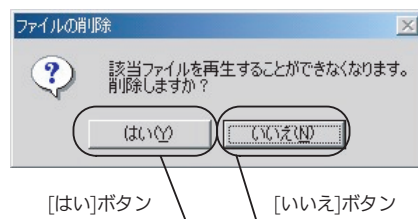
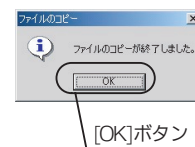
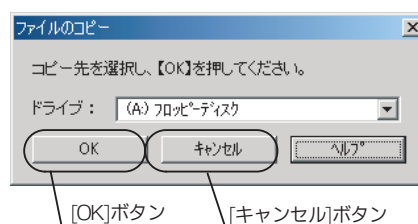
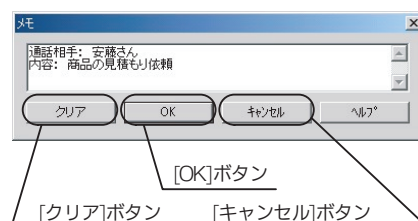
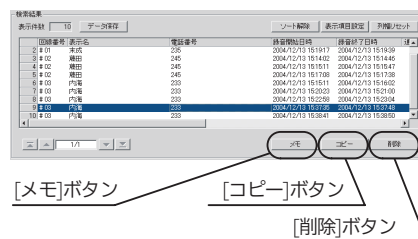
- ・[削除しますか?] のコメントが表示されます。

③ [はい] ボタンをクリックします。

- ・削除しないときは [いいえ] をクリックします。
- ・「ファイル削除中」の画面の後、しばらくして「削除されました」の画面が表示されます。

④ 確認画面の [OK] ボタンをクリックします。

- ・《再生》画面に戻ります。

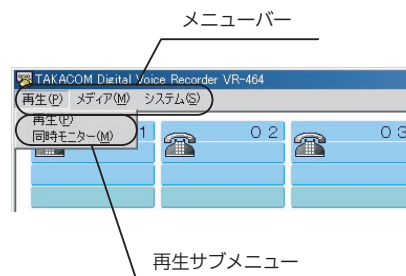


5. 同時モニター

通話中の音声を同時モニターすることができます。

1

- ① メニューバーの [再生] をクリックします。
 - ・再生サブメニューが表示されます。
- ② 再生サブメニューの [同時モニター] をクリックします。
 - ・再生パスワード認証を使用しているときは、《グループパスワード》画面が開きます。手順2へ進みます。
 - ・再生パスワード認証を使用していないときは、《同時モニター》画面が開きます。手順3へ進みます。



2

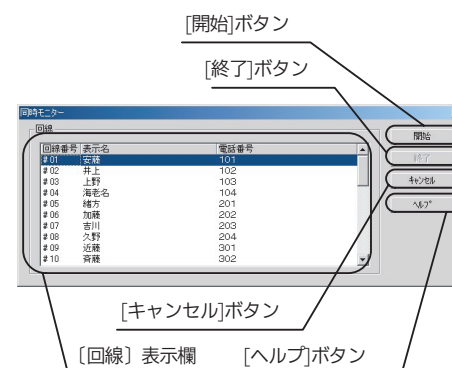
- ① [グループ] 入力欄の [▼] をクリックして、その中からグループを選びます。
 - ・グループが表示されます。
- ② [ID] 入力欄をクリックして、キーボードから「ID」を入力します。
 - ・IDが表示されます。
- ③ [パスワード] 入力欄をクリックして、キーボードから「パスワード」を入力します。
 - ・入力したパスワードはセキュリティ保護のため表示されません。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。



※《グループパスワード》画面が表示されたとき、マスター、または、システム・エージェント・カスタムで同時モニターが許可になっている ID およびパスワードでも同時モニターすることができます。

3

- ① [回線] 表示欄から、同時モニターしたい回線をクリックします。
 - ・反転表示になります。
 - ・大音量で聞こえる場合があります。ボリュームを適度に下げてください。
- ② [開始] ボタンをクリックします。
 - ・回線の音声が聞こえます。



- ・再生パスワード認証を使用している場合は、[回線] 表示欄には、手順2で選択したグループに登録された回線番号だけが表示されます。
- ・回線数が多いときは、垂直スクロールバーをドラッグまたは [▲/▼] ボタンをクリックして表示させます。

4

- ① 同時モニターを中止するときは、[終了] ボタンをクリックします。
 - ・同時モニターが停止します。
 - ・続けて他の回線を同時モニターするときは、手順3から行います。
 - ・[キャンセル] ボタンをクリックすると、同時モニターが終了し、基本画面に戻ります。

バックアップのしかた

1. バックアップについて

- ◎ 通話録音データは、本体のハードディスクに記録されます。ハードディスクを使い切ると、古いデータを消去し新しいデータを書き込みます。
- ◎ 通話録音をDVD-RAMディスクにバックアップして保存することができます。バックアップは、システム登録で指定した「定時」または「間隔時間」で、自動的に行われます。手動でのバックアップもできます。くわしくは、取扱説明書「設定編 システム登録 5. バックアップ条件の登録（→P.42）」をご覧ください。
- ◎ バックアップ後のDVD-RAMディスクは、書き込み禁止にしておくとう不用意に消去することがありません。
- ◎ メニューバーの「再生」、「メディア」や「システム」の画面を開いているときは、指定時刻になってもバックアップを開始しませんのでご注意ください。
- ◎ 満杯になったままなどバックアップができない状態が続いていると、バックアップされていなくても古い通話から自動的に消去されますのでご注意ください。

■ DVD-RAM ディスクについて

- 指定のDVD-RAMディスクをご使用ください。本装置で使用できるDVD-RAMディスクの仕様は次のとおりです。本装置に添付のDVD-RAMディスク（松下電器産業株式会社製）または同等品をご使用ください。
 - ・片面タイプ：容量4.7GBのカートリッジタイプ
- <ご注意>
- ・カートリッジから取り出し可能なものでも取り出さず、カートリッジに入れたままでご使用ください。
 - ・カートリッジタイプのものでないディスクをご使用になると正常に動作しなくなります。

■ DVD-RAM ドライブについて

● ランプ表示

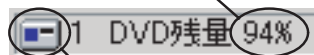
DVD-RAMドライブのランプ表示は、次のとおりです。

表示	状態
消灯	待機中／未装着
点灯／点滅	動作中

- ※ 動作中（ランプ点灯または点滅中）は、絶対に、DVD-RAMディスクを取り出さないでください。故障の原因になります。
- ※ 「イジェクト」ボタンを押しても、排出できないときは、しばらくしてからもう一度「イジェクト」ボタンを押してください。

● 画面の表示

DVD-RAMディスクの残量を表示しています。



色でドライブの状態を表示しています。

色	使用方法			
	シングル	ミラーリング	順次	エンドレス
アオ	使用中	使用中	使用中	使用中
クロ	---	---	待機中	待機中
グレー	使わない	使わない	使わない	使わない

「使用方法」に関しては、取扱説明書「システム登録 5. バックアップ条件の登録」（42ページ）をご参照ください。

■ クリーニングについて

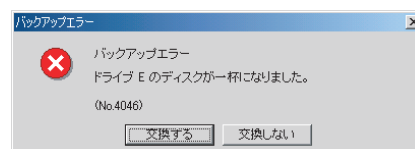
- DVD-RAMドライブのレンズやDVD-RAMディスクが汚れると、録音時間が短くなったり、録音できなくなります。定期的に（少なくとも4ヶ月に一度）クリーニングを行ってください。
- クリーニングはDVD-RAMドライブが待機中に行うことができます。クリーニング中はバックアップができません。
- クリーニングの方法は、「DVD-RAM レンズクリーナー」の取扱説明書をご参照ください。専用のものでないクリーナーをお使いになると、レンズやディスクに傷がついて、録音や再生ができなくなる場合があります。
- 毎月、クリーニングのご案内を基本画面に表示することができます。詳しくは取扱説明書「システム登録 5. バックアップ条件の登録 クリーニングの設定」43ページをご参照ください。

2. 満杯になってから交換する

DVD-RAM ディスクが一杯になると、《バックアップエラー》画面が開き、【ディスクが一杯になりました】と表示されます。

1

- ① ディスクが一杯になると、《バックアップエラー》画面が開きます。
 - ・【ディスクが一杯になりました】のコメントが表示されます。
- ② [交換する] ボタンをクリックします。
 - ・パスワードが設定されているときは、《パスワード》画面が開きます。手順2へ進みます。
 - ・パスワードが設定されていないときは、《ディスク交換》画面が開きます。手順3へ進みます。



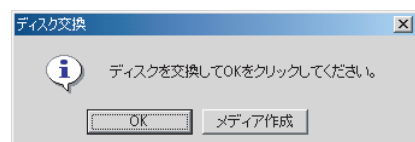
2

- ① [ID] 入力欄をクリックして、キーボードから「ID」を入力します。
 - ・ID が表示されます。
- ② [パスワード] 入力欄をクリックして、キーボードから「パスワード」を入力します。
 - ・入力したパスワードはセキュリティ保護のため表示されません。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。



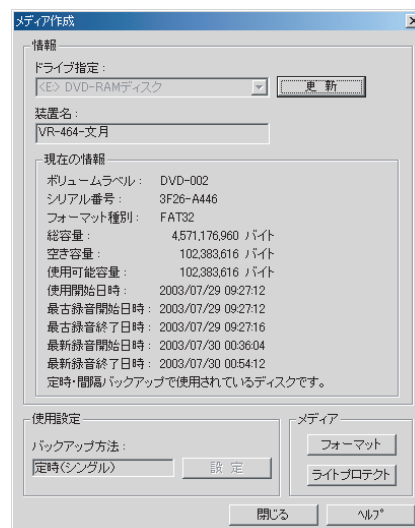
3

- ① ディスク交換の画面が開きますので [メディア作成] のボタンを押します。
 - ・《メディア作成》画面が開きます。
 - ・パスワードが設定されているときは、手順2と同じ手順でIDとパスワードを入力してください。



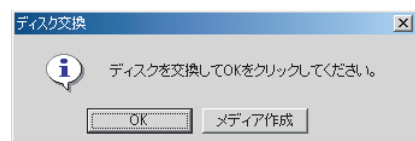
4

- ① DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押します。トレイが出たら、新しいディスクと交換します。
- ② DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押してトレイを格納します。
 - ・トレイの前面を軽く押しても、格納できます。
 - ・ドライブのランプが点滅します。
- ③ ドライブのランプが消灯したら、新しいディスクのメディア作成を行います。
 - ・メディア作成のしかたは、取扱説明書「操作編 メディア 2.メディアの作成《→P.30》」をご覧ください。
- ④ [閉じる] ボタンをクリックします。
 - ・《ディスク交換》画面が開きます。



5

- ① [OK] ボタンをクリックします。
 - ・元の画面に戻ります。

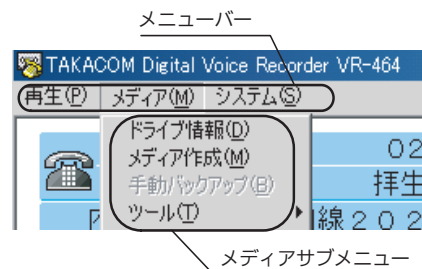


3. 満杯になる前に交換する

交換する DVD-RAM ディスクは、未使用のもの、または、使用済みのもの、いずれも同じ手順で交換できます。

1

- ① メニューバーの [メディア] をクリックします。
 - ・メディアのサブメニューが表示されます。
- ② メディアサブメニューの [メディア作成] をクリックします。
 - ・パスワードが設定されているときは、《パスワード》画面が開きます。手順2へ進みます。
 - ・パスワードが設定されていないときは《メディア作成》の画面が開きます。手順3へ進みます。



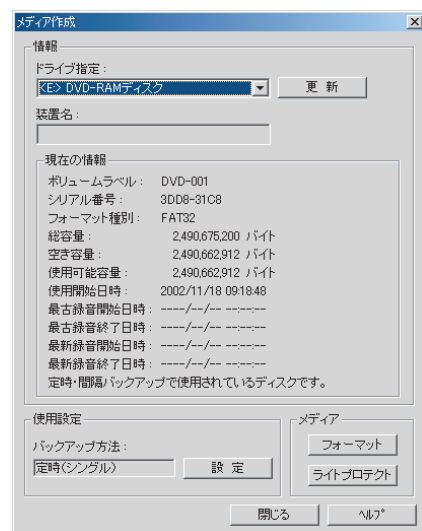
2

- ① [ID] 入力欄をクリックして、キーボードから「ID」を入力します。
 - ・ID が表示されます。
- ② [パスワード] 入力欄をクリックして、キーボードから「パスワード」を入力します。
 - ・入力したパスワードはセキュリティ保護のため表示されません。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。
 - ・《メディア作成》画面が開きます



3

- ① DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押します。トレイが出たら、新しいディスクと交換します。
- ② DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押しトレイを格納します。
 - ・トレイの前面を軽く押しても、格納できます。
 - ・ドライブのランプが点滅します。
- ③ ドライブのランプが消灯したら、新しいディスクのメディア作成を行います。
 - ・メディア作成のしかたは、取扱説明書「操作編 メディア 2.メディアの作成 (→ P.30)」をご覧ください。
- ④ [閉じる] ボタンをクリックします。



《メディア作成》画面

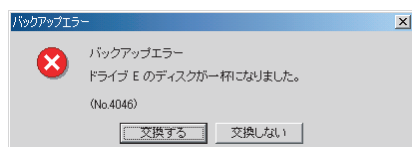
4. その他

バックアップ時刻になると、DVD-RAM ディスクの状態によって、エラー表示になります。それぞれの手順に従って、操作してください。

■エラー表示

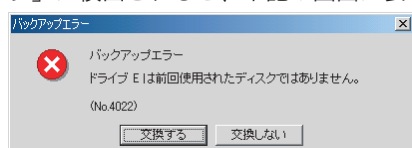
① 「DVD-RAM ディスク」が満杯になったとき

バックアップ実行中に、満杯になると、下記の画面が表示されます。



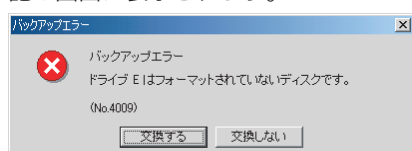
② 「DVD-RAM ディスク」が異なっていたとき

バックアップのとき、前回と異なった「DVD-RAM ディスク」が検出されると、下記の画面が表示されます。



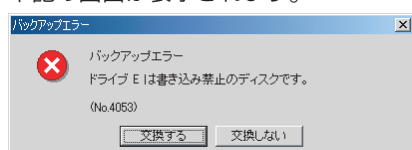
③ 新品の「DVD-RAM ディスク」のとき

バックアップのとき、未フォーマットが検出されると、下記の画面が表示されます。



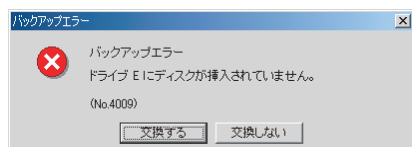
④ ライトプロテクトの「DVD-RAM ディスク」のとき

バックアップのときライトプロテクトが検出されたとき、下記の画面が表示されます。



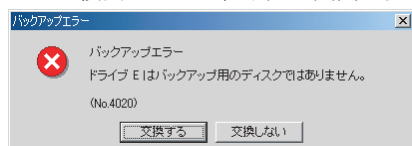
⑤ 「DVD-RAM ディスク」が未挿入のとき

バックアップのとき、未挿入が検出されると、下記の画面が表示されます。



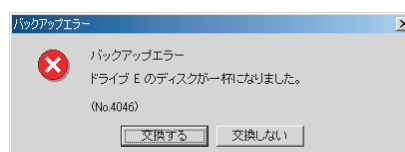
⑥ 使用設定のない「DVD-RAM ディスク」のとき

バックアップのとき、バックアップ用に設定されていないことが検出されると、下記の画面が表示されます。

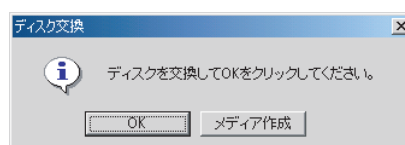


■エラー解除のしかた

① [交換する] ボタンをクリックします。



- ・パスワードが設定されているときは、ID とパスワードを入力してください。
- ・アラームが解除されます。
- ・《ディスク交換》画面が開きます。



② DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押します。トレイが出たら、新しいディスクと交換します。

③ DVD-RAM ドライブの「イジェクト」ボタンを押し、トレイを格納します。

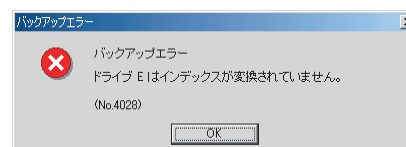
- ・ドライブのランプが点滅します。

④ ドライブのランプが消灯したら、[OK] ボタンをクリックするか、フォーマットが必要なときは、[メディア作成] ボタンをクリックします。

※ [交換しない] ボタンをクリックしたとき

- ・パスワードが設定されているときは、ID とパスワードを入力します。
- ・アラームは解除され、バックアップを中止します。
- ・今回バックアップできなかった通話は、次のバックアップのときに行われます。

ワンポイント



上のエラーが表示されることがあります。インデックスファイルの変換が必要です。

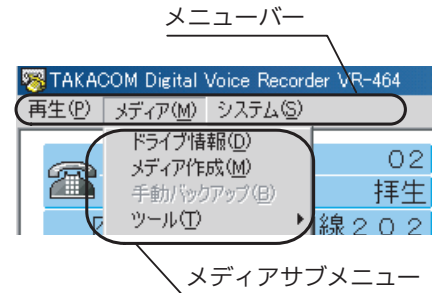
変換方法は取扱説明書「ファイルの変換・修復 2. インデックスファイルの変換」73 ページをご参照ください。

1. ドライブ情報

各ディスクの情報を表示します。

1

- ① メニューバーの [メディア] をクリックします。
 - ・メディアのサブメニューが表示されます。
- ② メディアサブメニューの [ドライブ情報] をクリックします。
 - ・《ドライブ情報》画面が表示されます。

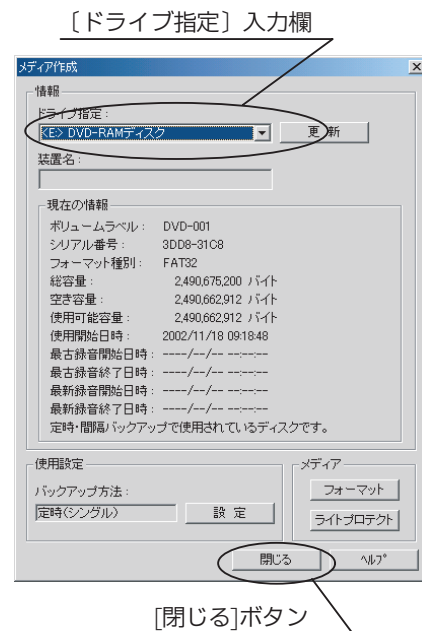


2

- ③ [ドライブ指定] 入力欄の [▼] ボタンをクリックします。
 - ・ドライブ一覧が表示されます。
- ④ ドライブ一覧から表示したいドライブをクリックします。
 - ・指定したドライブ情報が表示されます。
- ⑤ 続いて、他のドライブ情報を表示させるには、①～②を繰り返します。
- ⑥ 《ドライブ情報》画面を閉じるときは、[閉じる] ボタンをクリックします。
 - ・基本画面に戻ります。

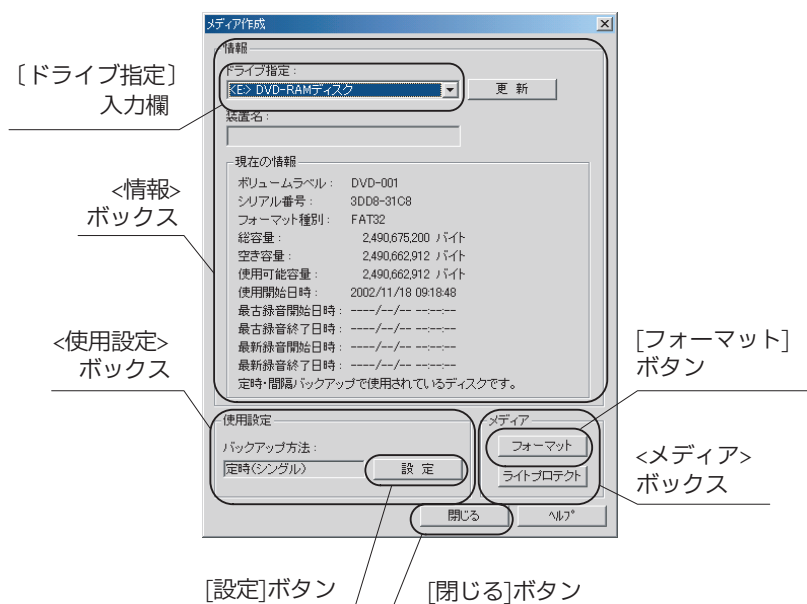
※ [更新] ボタンをクリックすると、そのドライブの最新情報が表示されます。

DVD-RAM ディスクやフロッピーディスクを入れ替えたときは、必ず、[更新] ボタンをクリックして、新しい情報を表示させてください。



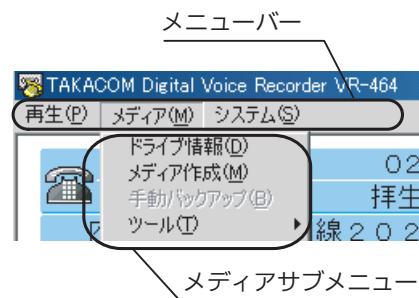
2. メディア作成

《メディア作成》画面で、新たに、バックアップ用のディスクを作成します。



1

- ① メニューバーの [メディア] をクリックします。
 - ・メディアのサブメニューが表示されます。
- ② メディアサブメニューの [メディア作成] をクリックします。
 - ・パスワードが設定されているときは、《パスワード》画面が開きます。手順2へ進みます。
 - ・パスワードを設定していないときは、《メディア作成》画面が開きます。手順3へ進みます。



2

- ① [ID] 入力欄をクリックして、キーボードから「ID」を入力します。
 - ・IDが表示されます。
- ② [パスワード] 入力欄をクリックして、キーボードから「パスワード」を入力します。
 - ・入力したパスワードはセキュリティ保護のため表示されません。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。



3

- ディスクを入れ替えドライブを指定する
- ① DVD-RAMドライブの「イジェクト」ボタンを押します。トレイが出たらディスクを交換します。
 - ② DVD-RAMドライブの「イジェクト」ボタンを押してトレイを格納します。
 - ・トレイの前面を軽く押しても、格納できます。
 - ・ドライブのランプが点滅します。
 - ③ デュアルドライブの場合は、[ドライブ指定] 入力欄の [▼] ボタンをクリックし、フォーマットするドライブを指定します。

※ [更新] ボタンをクリックすると、そのドライブの最新情報が表示されます。DVD-RAMディスクを入れ替えたときは、必ず、[更新] ボタンをクリックして、新しい情報を表示させてください。

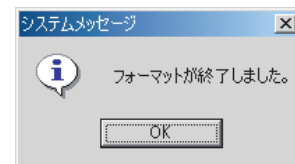
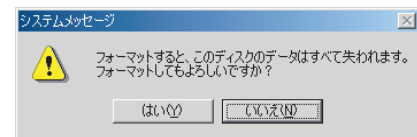
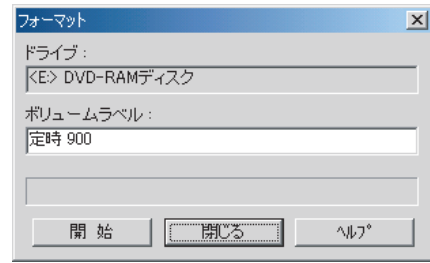
4

フォーマットをします。

- ① ドライブのランプが消灯したら、[フォーマット] ボタンをクリックします。
 - ・《フォーマット》画面が開きます。
- ② [ボリュームラベル] 入力欄をクリックし、キーボードから、ボリュームラベルを入力します。
 - ・例えば、「定時 001」など、ディスクの覚えに利用できます。
 - ・全角の場合は5文字、半角は11文字まで入力できます。
 - ・ボリュームラベルには、次の文字(16種類)を使用することができません。いずれも半角文字です。



- ③ [開始] ボタンをクリックします。
 - ・「フォーマットをすると、このディスクのデータはすべて失われます。フォーマットをしてもよろしいですか?」と確認画面が表示されます。
- ④ 確認画面の[はい] ボタンをクリックします。
- ⑤ フォーマットが開始され、下段に、進行状況が表示されます。
- ⑥ 「フォーマットが終了しました。」と確認画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。
- ⑦ 《フォーマット》画面の[閉じる] ボタンをクリックします。
 - ・《メディア作成》画面に戻ります。



5

《メディア作成》画面で使用設定をします。

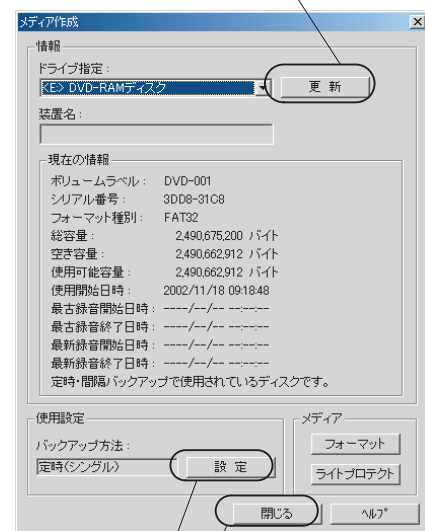
- ① デュアルドライブの場合は、[ドライブ指定] 入力欄が使用設定をするドライブを表示していることを確認します。
 - ・表示していないときは、[ドライブ指定] 入力欄の[▼] ボタンをクリックし、該当のドライブを指定します。
- ② 〈使用設定〉ボックスの[設定] ボタンをクリックします。
 - ・「システム登録 バックアップ」で指定したバックアップ方法に設定されます。取扱説明書「システム登録 5. バックアップ条件の登録」(42ページ)をご覧ください。
 - ・「バックアップ用に使用設定しました。」と確認画面が表示されます。
- ③ 確認画面の[OK] ボタンをクリックします。
 - ・《メディア作成》画面に戻ります。

6

《メディア作成》画面を閉じます。

- ① [閉じる] ボタンをクリックします。
 - ・基本画面に戻ります。

[更新]ボタン



[設定]ボタン

[閉じる]ボタン

※ [更新] ボタンをクリックすると、そのドライブの最新情報が表示されます。DVD-RAM ディスクをフォーマットしたときは、必ず、[更新] ボタンをクリックして、新しい情報を表示させてください。

3. 手動バックアップ

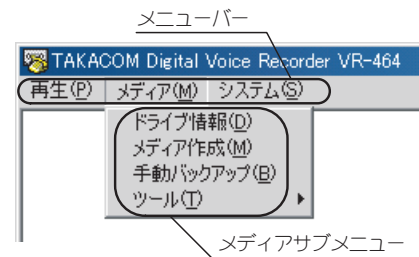
定時または間隔のバックアップとは別に、通話を選択してバックアップすることができます。手動でバックアップするときは、あらかじめ次の操作をしておきます。

1. バックアップ方法を、手動バックアップに設定します。
くわしくは、「設定編 システム登録 5. バックアップ条件の登録《→P.42》」をご覧ください。
2. 手動バックアップに使用するディスクを、フォーマットおよび使用設定をします。
くわしくは、「操作編 メディア 2. メディア作成《→P.30》」をご覧ください。

1

① メニューバーを [メディア] → [手動バックアップ] の順にクリックします。

- ・パスワードを設定しているときは、《パスワード》画面が開きます。手順2へ進みます。
- ・パスワードを設定していないときは、《検索》画面が開きます。手順3へ進みます。



2

① 「ID」と「パスワード」を入力し [OK] ボタンをクリックします。

- ・入力したパスワードはセキュリティ保護のため表示されません。

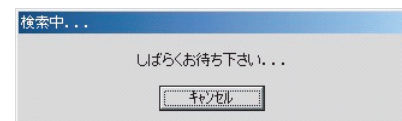
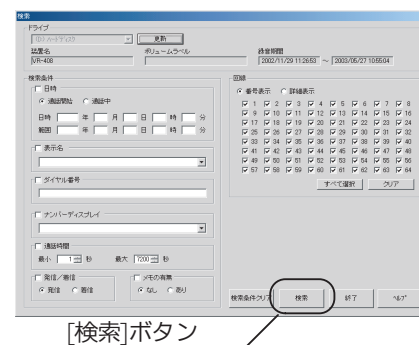


3

① 《検索》画面で、検索条件を指定します。
指定は、「操作編 再生のしかた 2. 検索のしかた《→P.14》」と同じです。

② [検索] ボタンを押します。

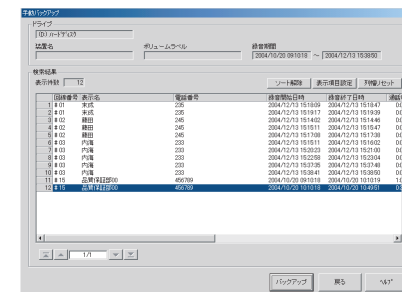
- ・「しばらくお待ち下さい...」とコメントが表示されます。
- ・[キャンセル] ボタンをクリックすると、検索を中止し途中までの検索結果を表示します。
- ・《手動バックアップ》画面が開き、検索結果が表示されます。



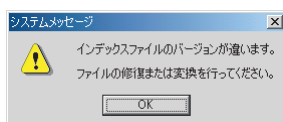
4

① [バックアップ] をクリックするとバックアップが始まります。

- ・基本画面に戻ってステータスバーに「バックアップ中」と表示されます。
- ・[戻る] をクリックすると手順3に戻ります。



ワンポイント



左のエラーが表示されることがあります。詳しくは15ページのワンポイントをご参照ください。

■お問い合わせ先一覧

支店 / 営業所名	住所、電話番号	担当地区
東京支店	〒 103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-9-8 (日本橋 MS ビル) 電話：03-5651-2281	関東、甲信越
札幌出張所	〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 (オーク札幌ビル) 電話：011-271-0225	北海道
仙台出張所	〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 1 丁目 6-10 (仙台北辰ビル SEED21) 電話：022-726-7300	東北地区
名古屋営業所	〒 461-8655 名古屋市東区徳川 1-8-48 電話：052-937-8822	東海、北陸地区
大阪営業所	〒 542-0081 大阪市中央区南船場 2-5-23 (自重堂ビル) 電話：06-6260-4611	近畿地区
広島営業所	〒 733-0021 広島市西区上天満町 3-19 (第 2 横山ビル) 電話：082-291-6400	中国、四国地区
福岡営業所	〒 812-0042 福岡市博多区豊 1-3-14 (佐藤ビル) 電話：092-431-1942	九州地区、沖縄県